

第233回例会 日向薬師から里山集落の晩秋を味わう



日時：2018年11月3日(土) 文化の日 晴れ一時曇り(午後一時小雨ぱらつくもすぐ止む)
 集合：小田急線伊勢原駅 9時45分 10:05発バス (9:30発バスも有) 紫 は当日追加変更
 コース：伊勢原駅バス→日向薬師バス停→日向薬師→大友皇子お墓→浄発願寺→<日向川昼食>→明神橋
 →日陰道(神奈川古道選50選)→日向地区集落→伊勢原総合運動公園→咳止め地蔵
 →伊勢原市役所・JAいせはら→伊勢原駅 21,000歩 14km(伊藤自宅含め26,000歩)
 参加者：平野L・平嶋SL・小林SL(赤帽) 含め34名 青地：感想文(資料メモ端に赤印、運動公園で発表)

- 【1班】班長：小田 ・佐藤伊・神谷・伊藤真・小林SL・山川・桜井・勅使河原・平石・小野里
 ・河野・平嶋 12名
- 【2班】班長：山内・熊坂・吉越・青松・桑名・小作・奴田・佐藤繁・長廣・常盤・高橋文 11名
- 【3班】班長：福士・平野L・武倉・桑原・畠・伊藤美・吉岡・熊島・長井・市村・丹後 11名

日向薬師は過去数回行っているが、小生のレポートを見たら直近では4年前2014年2月26日(水) 神谷L「関東ふれあいのみち⑩」16名参加。鶴巻温泉駅から帰りは伊勢原駅18,000歩、約12km。今日は小島さん急遽欠席とのことで、レポーター役を担当しました。

夏は天候不順でしかも猛暑でウォーキングも中止や変更が続きました。秋になると好天が続き他の行事も一杯ですが、久しぶりの日向薬師ウォークに参加しました。明神橋からの町歩き小雨がポツポツ落ちてきた。今朝PCで伊勢原ピンポイント天気予報を見て雨は降らないと確信して、折り畳み傘をリュックから出してきてしまったと思いきや、「雨降山・大山」の上空に青空が見えてきた。今日日向薬師に参拝した御利益があったものと感謝しました。後半のコース設定日陰道から日向里山集落歩きはアップダウンもなく最高でした。

11月は10日(土)鎌倉源氏山集中ウォーク、17日(土)大山80才祝福登山頑張りしたいと思います。

地図： 追加ウォーク 日向薬師から北へ大友皇子お墓→浄発願寺→＜日向川昼食＞日向薬師標4 5 4 m h



小田急線伊勢原駅 日向薬師行バスは9：45発と1：05発で伊藤はこれに乗る。バスは約20分 280円
日向薬師バス停先発隊。 すぐ傍のお店でお土産買済



ここで佐藤伊さんストレッチ 平野Lコース説明と班長紹介

新入会員362 櫻井さん



10:45スタート 関東ふれあいの道シリーズ⑩を思い出します

石碑とお地藏さんのお迎えです



早速急石段を登ります。これがKWCですよ、しかし修行と心得て登ると今日は良い御利益がありますよ！



仁王様のお迎えです

悪者はいません！善男善女の山とお寺が大好きなウォークマンです。まだ石段です！



しかしここからは苔岩と大樹がお迎えします！緩やかな石段と岩道 山門から日向薬師本堂標高差約70mはて？なんと・・・



古木の根っこも風雪に耐えて生きてきました

まだ登るの？ これぞ修行ですよ！ 煩惱を汗に流して！



改修5年振り終わった「茅葺日向薬師本堂」

赤と黄色、艶やかにお参りをご歓迎



当山は奈良時代初頭の靈龜2年（西暦716年）に、僧行基により開山されました。僧行基が熊野を旅していた際、薬師如来のお告げにより、相模国のこの地（現在の神奈川県伊勢原市）に、日向山 靈山寺（ひなたさん りょうぜんじ）を開山した、と伝えられています。

本尊 薬師瑠璃光如来（鉦彫り 国重文）

本堂奥にある日向薬師にも 参拝

お店がありここで戴いた「椎茸茶」美味しく買いました¥200



自宅でも美味しく喜んでもらえました

5 4 m h

椎茸茶を戴いてしばらく休憩

こちらは長老組、お椅子に座って今からのウォークに備えます！



僅かに紅葉が見えてきました

赤帽しより前には出ては駄目ですよ！ 平野はまだ若い、間隔調整数回



お店の叔父さんに勧められた「浄発願寺」へ行く



浄発願寺は、無常山一之澤院と号し、今を去る四百有余年前に木食遊行の開祖弾誓上人により開かれた天台宗弾誓派総本山です。後陽成帝御宇慶長十三年（1608年）、当山の巖窟にて昼夜不断の念仏を修し、その大光明は十方に普き、在世の随化寂後の応驗灼かでありました。弾誓上人の誠の修行に心を打たれた徳川家康公は渴仰のあまり自ら当山に進臨し給うて、弾誓上人の薪、水の用にと一之澤、二之澤の山林を与え深い帰依の誠を示されました。そして関東代官頭である伊奈備前守をして手厚い保護を与えました。三重の塔



【浄苑願寺】



日向川



日向文化財沢山有りますよ！ この後歩く日陰道



【大友皇子の陵墓】



弘文天皇 (こうぶんてんのう、648年 (大化4年) - 672年8月21日 (天武天皇元年7月23日)) は、第39代天皇 (在位: 672年1月9日 (天智天皇10年12月5日) - 672年8月21日 (天武天皇元年7月23日))。諱は大友 (おおとも) または伊賀 (いが)。1870年 (明治3年) に諡号を贈られ、天皇として認められたが、即位したかどうか定かではなく、大友皇子と表記されることも多い。

天智天皇の第一皇子。母は伊賀采女宅子娘 (いがのうねめ・やかこのいらつめ)。天智後継者として統治したが、壬申の乱において叔父・大海人皇子 (後の天武天皇) に敗北し、首を吊って自害する。

昼食 12:20~12:50・・・日向川の紅葉とせせらぎの傍で

紅葉の草木に染まり皆さんも赤い顔？



平野しお食事も早い？赤帽さんとお花レポーター二人おやつタイム？ こちらにも赤帽さん既に終わり



いつものスタイルお一人で こちらの長老さんもフルーツタイム この木も長老？古木に生える苔自然生花



三重の塔を今一度



追加ウォークと昼食場所最高でした！

紅葉と綺麗な？笑顔のお若い？三人、TさんVサイン花束を持っている？この木は・・熊坂花の先生(HPで・・・)



大山と紅葉背景の山道を歩く・・・最高のウォーキング



杉林の中、落葉絨毯を歩く、最高よ！

後ろが遅い・・・？いやLが早すぎる・・・待ちましょう！



美味しそうな柿の木庭園の前で



それにしても見事な柿です！手が届きますが・・・？



いちょうにじばし



古橋にピッタリ？歩く若い？ウォーク熟男熟女連



13:20 あれ～雨が降り始め・・・？ いや～大丈夫すぐやみました 雨降り大山に感謝 給水タイム



大山に青空が見えてきた



成城学園近くに来ました



植樹は紅葉の始まりです





可愛い猫4匹お出迎え

三光寺前を通る

高速道を潜る



お見事な巨石の家

戸張川? 沿い歩き

紅葉が始まった背景の歩道



15:00 農協に寄り食材を買う人も、これは植木 「咳止地蔵」の傍に「大山道」 大山道と矢倉沢往還



大山道と矢倉沢往還
ここは道は左右に分かれました。
せきどめの地蔵尊には大山道の赤松と矢倉沢往還の両道
が通っていて、ここで右に分岐する赤松と矢倉沢往還の両道
大山道戸田道、青山道は神を祀る「大山道」と分かれ、峠岸
方面へ向い千石原沿いに谷久保から石倉橋を経て大山へ向まし
た。矢倉沢往還は神宮寺前を通り片町、串崎、善達を経て、松田か
ら尾崎方面、矢倉沢へ向かいます。
この道は、つまり、山田の古道で左右に分かれて川を越え
た。また、ここにある庚申塔は道標にもなっていて、大山道「ひな
た」と彫られています。

咳止地蔵尊由来
洪田川に架せられた「せきど橋」
のたもとにある咳止地蔵は古来か
ら痰咳平癒の守護仏として崇めら
れ「せきどめ地蔵」の名で広く靈
験を知られた。現尊像は享保八年
(一七三三年)の再建なるもので、
再々の補修がなされている。地蔵
前の古道は相模川の戸田の渡しか
ら大山に通じる「戸田道」で榎屋
宿にも程近く大山詣りの道者たち
の信仰をも得ていた。現今東京、
川崎・立川方面に信者のあるのも
そのためで、堂のそばには大山道
の道標もこのさだめている。背後の
富士山は八王子道にも通じるので
昔は岡の市も立った。道路や交通
機関の変動で、戸田道は往古の面
影もないが地元人士の賛同を得て
保存会を結成、堂宇の修理をなし
霊蹟の再興を図るものである。
昭和五十年三月二日
弥杉峠止地蔵尊保存会



給水タイムと蜘蛛



